



平成 27 年 5 月 12 日

各 位

会 社 名 HOYA株式会社
代 表 者 名 代表執行役CEO 鈴木 洋
(コード番号 7741 東証第一部)
問 合 せ 先 コーポレート企画室
I R 担 当 TEL03-3952-3827
広 報 担 当 TEL03-3952-6416

平成 27 年 3 月期 個別業績の差異に関するお知らせ

当社は当事業年度の個別業績が、前事業年度の実績値との対比においてその差異が開示基準に達することとなりましたのでお知らせいたします。当社はこれまで当該期間に係る個別の業績予想を公表しておりませんので、対比につきましては前事業年度の実績値との比較となっております。

なお、本日、当社は「平成 27 年 3 月期 決算短信[IFRS] (連結)」を開示しております。

記

1. 平成 27 年 3 月期(通期)個別業績 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

前事業年度の実績値との比較

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前事業年度実績(A) (平成 26 年 3 月期)	198,501	18,560	65,003	39,095	円 銭 90.57
当事業年度実績(B) (平成 27 年 3 月期)	175,332	16,811	40,890	29,433	69.21
差異額 (B-A)	△23,169	△1,748	△24,112	△9,661	21.36
差異率 (%)	△11.7	△9.4	△37.1	△24.7	—

(注) 当社は連結決算に関しては平成 23 年 3 月期から国際会計基準(IFRS)に準拠して開示しておりますが、個別業績につきましては従来通り日本基準で公表しております。

2. 公表の理由

当社グループでは、投資者ニーズを踏まえたうえで投資者判断情報として有用性に乏しいとの観点から、個別業績の概要は予想を含めて記載を省略しております。

このたび、前事業年度と比較して、当事業年度の決算数値が大きく変動し、売上高ならびに経常利益の差異が開示を要求される基準に達しましたので、その内容を公表するものであります。

<前事業年度実績との差異が生じた理由>

① 売上高の減少：

平成 25 年 10 月 1 日付、会社分割により当社のセラミクス製インプラント事業の分割会社

への承継、消費税増税前の駆込需要（前事業年度）の反動減、その他、事業再編に基づく取引形態の変更による当社売上高の減少。

② 経常利益の減少：

関係会社受取配当金の減少及び為替差益の減少。

以上